

# 足立区

面積 .....53.25km<sup>2</sup>  
世帯数 .....361,781世帯  
人口 .....689,258人  
(うち外国人).....33,009人  
予算 .....3,154億円  
職員数 .....3,332人



区の木「桜」

葛西用水親水水路は、水路沿いに約290本の桜が植えられ、春には見事な開花が楽しめます。



区の花「チューリップ」

荒川河川敷の虹の広場、都市農業公園の大花壇などが有名です。

## 歴史・見所・名所

「足立」の名の由来は、かつては海辺に接する低湿地帯で、たくさんの葦が生えていたことから「葦立ち」、そこから「足立」になったという説があります。

江戸時代に日光街道第一の宿場として「千住宿」が設けられ、松尾芭蕉の『奥の細道』旅立ちの地にもなった「千住」を中心に発展してきました。

現在、千住のまちは、昔ながらの路地や銭湯、祭りなどの下町情緒を残す一方で、5つの大学が集中し、若者や女性に人気の店や、古民家をリノベーションした個性的な店舗が増えるなど、古さと新しさが交じり合う人気スポットとなっています。

区内には、ほかに、創建826年、開基は空海といわれる関東三大師の一つである「西新井大師」や、国内最大級のネット遊具や23区最大のプラネタリウムがある体験型複合施設「ギャラクシティ」などが点在し、大人も子どもも楽しめる、ぶらり歩きが似合うまちです。

## 概要

足立区は23区の最北端に位置し、四方を川に囲まれており、荒川をはじめとする水辺や、公園の緑など、豊かな自然環境を残しています。近年は、つくばエクスプレスや日暮里・舎人ライナーの開通、区内を縦横にきめ細かく巡る12路線のコミュニティバス「はるかぜ」の整備などにより交通の利便性も高まり、西新井駅西口駅前や新田地区、千住大橋地区などの大規模集合住宅開発が大きく進んだことから、総人口は69万人に達しました。

千住エリアには、放送大学、東京藝術大学、東京未来大学、帝京科学大学、東京電機大学の5つの大学が集積し、約1万5千人の学生が集い、まちに活気をもたらしています。近年は、花畑エリアで区内6つ目の大学となる文教大学東京あだちキャンパスが開設、江北エリアで区内初の大学病院となる東京女子医科大学附属足立医療センターが開院、竹の塚エリアで鉄道高架化が実現するなど、ハード面の整備が大きく進んでおり、今後も綾瀬、北綾瀬、西新井の各駅前交通広場整備などが控えています。

このように、足立区は日々成長を続け、未来に向けて着実に歩みを進めています。

## 主要課題

### (1) 大規模災害への対策を強化しさらに安全なまちへ

足立区は軟弱な地盤や木造密集地域を抱え、四方を川に囲まれていることから、大地震や台風などの際に大きな被害を受けるリスクが高く、災害から区民の命を守る取組みを強力に推進しています。特に、震災対策については、令和4(2022)年に都が公表した首都直下地震の新たな被害想定に対応したリスクの低減が求められており、対策のさらなる強化を図っていきます。

### (2) 「誰一人取り残さない」ための施策を展開

令和14(2032)年に迎える区制100周年を見据え、未来にわたって区が成長し続けるための原動力となる子どもや若者世代の「学び」「健康」に対する支援を強化し、生き抜く力を育てていきます。また、高齢者や障がい者など、多様な区民が暮らしやすい共生社会を実現する施策を展開していきます。

### (3) エリアデザインによる戦略的なまちづくり

魅力的なまちの将来像を描き、民間活力の誘導や区有地等の活用を効果的に行うことで区のイメージアップを図る独自のまちづくりの手法「エリアデザイン」を進めています(7つのエリアで展開中)。ハード面だけでなく、ソフト面においても、各エリアの核となる施設等を中心とした整備を進めており、地域特性に応じたまちの新たな魅力創出に向け取り組んでいます。

### (4) シティプロモーションでマイナスイメージから完全脱却

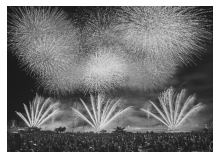
区を取り巻くマイナスイメージの根本原因である「治安・学力・健康・貧困の連鎖」の4つのボトルネック的課題の払しょくに、区をあげて注力してきました。今後は、従来取り組んできた「弱みの克服」「まちの新たな魅力創出」に加え、区外へ向けたプラスプロモーションの展開により区外からの評価も高め、「住みたい、住み続けたいまち」の実現を目指します。

## 将来展望

平成28(2016)年10月、30年後を見据えて策定した区の基本構想では、区の将来像を「協創力でつくる 活力にあふれ 進化した続ける ひと・まち 足立」と定めました。

将来像を実現するための取組みを「ひと」「くらし」「まち」「行財政」の4つの視点で整理し、地域課題の解決や新たな魅力の創出のために、行政主導による取組みだけではなく、区民、企業、NPOなどの多様な主体がゆるやかにつながって自立的に取り組む「協創力」を高めていきます。

令和4(2022)年5月、足立区は国が定める「SDGs 未来都市」に選定されました。様々なステークホルダーとのパートナーシップで、SDGsを原動力とした持続可能なまちづくりの取組みをさらに加速していきます。



足立の花火大会

夏の風物詩「足立の花火」。約1万3千発の花火が夏の夜空を彩ります。



あだちベジタベライフ

野菜から食べて糖尿病を予防するプロジェクトを展開中です。



文教大学

令和3(2021)年度に区内6番目の大学として開設



東京女子医科大学附属足立医療センター

令和3(2021)年度に江北駅付近に開院